

授 業 計 画

| | | |
|--|-------------|--|
| 科目名 『内科・外科学的疾患』＜前期＞ | | 講師名 田代 佳寛 |
| | | 実務経験 有 |
| 対象学科名 医療秘書学科 2 年 | 授業の方法 講義 | ＜ 講 義 日 ＞ 木曜日 2 限目 ＜ 時 間 数 ＞ 1 5 時間 |
| <p>[授業の内容] (学習全体の内容) *授業の全体像</p> <p>1 年次に学習した基礎的な医学知識をさらに具体的に習得する。 過去問解説にて教科書と資料の内容を再確認する。</p> | | |
| <p>[到達目標] (どこまでのレベルまでを目標としているか)</p> <p>医療秘書検定合格のための知識を習得する。</p> | | |
| <p>[検 証] (学生の理解度を確認する方法) 例) 小テストの実施など。</p> <p>過去問による小テスト</p> | | |
| <p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>*使用した場合のみ</p> <p>新 医療秘書医学シリーズ 2 『基礎医学』建帛社 2020 小泉憲司・矢澤華子 共著</p> | | <p>[成績評価の方法・基準]</p> <p>出席率を含めた授業態度 定期試験 100%</p> <p>*評価基準は評価記入用紙による。</p> |

| 回数 | 授 業 内 容 |
|----|-----------------------|
| 1 | 人体の構成要素（細胞・組織）の臨床医学 |
| 2 | 神経系・感覚器の臨床医学 |
| 3 | 循環器系（心臓・血管・リンパ系）の臨床医学 |
| 4 | 血液（体液・血液）の臨床医学 |
| 5 | 運動器系（骨格・筋）の臨床医学 |
| 6 | 泌尿器系（腎臓・泌尿器疾患）の臨床医学 |
| 7 | 内分泌系（内分泌疾患）の臨床医学 |
| 8 | 呼吸器系（呼吸器疾患）の臨床医学 |
| 9 | 消化器系（消化器疾患）の臨床医学 |
| 10 | 消化器系（消化器疾患）の臨床医学 |
| 11 | 生殖器系（生殖器疾患）の臨床医学 |
| 12 | 重要点の復習・解説 |
| 13 | 試験形式での知識の確認・解説 |
| 14 | 重要点の復習・解説 |
| 15 | 前期定期試験 |

授 業 計 画

| | | |
|--|--|--|
| 科目名 『皮膚科、泌尿器科的疾患』＜後期＞ | | 講師名 田代 佳寛 |
| | | 実務経験 有 |
| 対象学科名 医療秘書学科 2 年 | 授業の方法 講義 | ＜ 講 義 日 ＞ 木曜日 2 限目 ＜ 時 間 数 ＞ 1 5 時間 |
| [授業の内容] (学習全体の内容) *授業の全体像 1 年次に学習した基礎的な医学知識をさらに具体的に習得する。 過去問解説にて教科書と資料の内容を再確認する。 | | |
| [到達目標] (どこまでのレベルまでを目標としているか) 医療秘書検定合格のための知識を習得する。 医療秘書業務に必要な臨床医学の知識を習得する。 | | |
| [検 証] (学生の理解度を確認する方法) 例) 小テストの実施など。 過去問による小テスト | | |
| [使用テキスト・参考文献] *使用した場合のみ 新 医療秘書医学シリーズ 2 『基礎医学』建帛社 2020 小泉憲司・矢澤華子 共著 | [成績評価の方法・基準] 出席率を含めた授業態度 定期試験 100% *評価基準は評価記入用紙による。 | |

| 回数 | 授 業 内 容 |
|----|-----------------------------|
| 1 | 人体の構成要素（細胞・組織）の臨床医学 |
| 2 | 神経系・感覚器疾患・病態の知識の確認 |
| 3 | 循環器系（心臓・血管・リンパ系）疾患・病態の知識の確認 |
| 4 | 血液（体液・血液）疾患・病態の知識の確認 |
| 5 | 運動器系（骨格・筋）疾患・病態の知識の確認 |
| 6 | 泌尿器系（腎臓・泌尿器疾患）疾患・病態の知識の確認 |
| 7 | 内分泌系（内分泌疾患）疾患・病態の知識の確認 |
| 8 | 呼吸器系（呼吸器疾患）疾患・病態の知識の確認 |
| 9 | 消化器系（消化器疾患）疾患・病態の知識の確認 |
| 10 | 消化器系（消化器疾患）疾患・病態の知識の確認 |
| 11 | 生殖器系（生殖器疾患）疾患・病態の知識の確認 |
| 12 | 重要点の復習・解説 |
| 13 | 試験形式での知識の確認・解説 |
| 14 | 重要点の復習・解説 |
| 15 | 後期定期試験 |